

目次

●巻頭言 ボイジャー2号と建設技術の進歩……………前田邦夫／1
 首都高速12号線の
 大規模ニューマチックケーソンの施工……………石井田村 敏敏 史雄／3
 上嶋 彰

グラビヤ——首都高速12号線の大規模ニューマチックケーソン工事

アブレイシブジェットによる低騒音解体工法……………松本浩一／9
 ——脳神経外科病院改修工事……………山口沢 修弘 樹
 荒 治 夫／14
 信濃川発電所水路トンネル(山本工区)……………増水 本 上 治 正 夫 信
 におけるECL工法による施工実績……………金 子 研 一 清／21
 多連型泥土圧シールド(DOT)工法の……………金 近 藤 紀 夫
 実証実験工事——縦二連型実証実験……………近 藤 紀 夫
 電磁波による切羽の状況探知装置の……………伊藤 達 男／26
 開発と現場への適用……………村 川 達 忠

●随 想 下手なゴルファーの繰り言……………中村 弘／32
 ファジィ制御による……………芝 司 郎／34
 シールド機の自動方向制御システム……………高市 橋 川 義 理 政
 中 南 内 村 孝 雄 章／38
 コンクリート舗装の新しい表面処理工法……………中 南 内 村 孝 雄 章
 ——九州自動車道肥後トンネルの骨材露出工法……………藤 光 顯

舗装構造の非破壊測定機の現況……………笠原 保 篤彦／43
 ——フォーリング・ウェイト・デフレクトメータ……………伊 藤 保 篤彦
 最近の路面切削機の動向……………三 隅 剋 徳／47
 振動ローラの締固め管理方法……………後 町 知 安／51
 松 井 美 喜

超音波トランスポンダ方式を利用した……………滝 口 功／55
 作業車警報装置……………木 村 節 朗
 ISO/TC 127/SC 2 ロンドン国際会議報告……………長谷川 保 裕／59
 英仏海峡トンネル工事見学記……………寺 尾 信 夫／62

●新工法紹介
 RECPAC工法/KOMETシステム/……………調 査 部 会／65
 NOCC工法/ワイヤーソー工法……………調 査 部 会

●新機種ニュース……………調 査 部 会／69

●整備技術
 整備用機器(第8回)……………整 備 部 会／72
 温風低圧塗装機……………整 備 部 会

●統 計
 建設工事受注額・建設機械受注額の推移……………調 査 部 会／75
 行事一覧……………／76
 編集後記……………(小松・石倉)／78

◀表紙写真説明▶

ブルドーザ D135A
 株式会社 小松製作所

本機は、特に砂利・採石・土採取および土木工事における、押土リッピング作業での、より高い生産性と経済性を追求して開発した大型ブルドーザで、下記の特徴を有する。

① 直噴ターボ付、高出力かつ低燃費エンジン搭載。およびパワーにマッチした大型ブレード装着により、大きな作業能力と経済性を両立している。

② 1クラス上の定評あるD155A-2の足回り装着により、高い安定性の確保とともに、過酷な岩盤地でも抜群の耐久性を発揮する。

③ 可変式マルチリップと頑強かつシユースリップの少ない足回りととの相乗効果で強力なリッピング能力を発揮する。

◀主な仕様▶

- ・運転整備重量……………36,500 kg
- ストリートチルトドーザ……………(可変マルチリップ、ROPS キャンプ付)
- トタクダ……………24,460 kg
- ・ブレード容量……………9.2 m³
- ・エンジン出力……………289 PS/2,000 rpm